



インド農村開発 インターンシップ研修

9月1日～

9月16日

90,000円

(研修費・宿泊費・食費・空港送迎
アーシャ賛助会員費・諸税込み)

「知らない世界」をみてみよう

人口13億人を誇る大国、インド。急成長をしている都市部がある一方で農村部では差別・貧困・教育など、さまざまな問題に直面しています。NPO法人アーシャでは現地の人たちと共に持続可能な生活改善を目指し、現地で有機農業やソーシャルビジネスなどの支援活動に取り組んでいます。この活動に参加して多くの経験と思い出をつくりませんか？



活動場所

インド ウッタルプラデッシュ州
ブラヤグラージ県 ナイニ
サム・ヒギンボトム農工科学大学
マキノスクール(継続教育学部)と近隣農村

研修目的

農村開発プロジェクトの実習・見学・調査・講義・ディスカッションなどを通して持続的な農村開発や国際協力の理解を深めていきます。(詳しくは裏面をご覧ください)

一部の大学では単位認定もされています。
昨年は東京農工大学、関西学院大学、弘前大学、宇都宮大学など農業や国際関係学部の大学生・院生11名が参加。

お問い合わせ・申し込み

NPO法人アーシャ＝アジアの農民と歩む会

〒329-2703 栃木県那須塩原市槻沢83-17

Tel: 0287-47-7840 Email: info@ashaasia.org

<http://ashaasia.org/newhome2/> (担当:平野・朝比奈)

注)航空券代・保険代・ビザ代・日本国内の旅費は参加費に含まれません。各自でご準備ください。その他ご不明な点はお問い合わせください。

(締め切り: 6月30日)

スケジュール

日程	午前	午後
9月1日(日)	昼頃、成田空港発 (JAL, Air India)	夕方、デリー空港着。 (空港出迎え) 夜行寝台列車で移動
9月2日	朝、プラヤグラージ着	オリエンテーション
9月3日～12日	個別研修 6日間 / 全体研修 2日間 研修内容シェアリング 1日間 / 市内観光 1日間	
9月13日	成果発表準備	成果発表会 夜行寝台列車で アグラへ移動
9月14日	アグラ観光(タージマハル・アグラ城) 夕方デリーへ移動、デリー泊	
9月15日(日)	デリー観光	夕方、デリー空港発 (空港見送り)
9月16日	朝、成田空港着	



食品加工



農村部調査



手工芸品・デザイン



デリー観光(赤い城)

- ◎個別実習研修内容(選択)
- ・持続可能な農業と農村開発
 - ・農村女性自立と収入向上
(例:手工芸品、食品加工など)

- ◎全体研修内容
- ・農村部訪問
 - ・現地駐在員による講義
 - ・シェアリング、発表会
 - ・観光(デリー・アグラ・プラヤグラージ)
 - ・朝の農作業(自由参加)

プラヤグラージってどこ？



プラヤグラージ
(旧:アラハバード)

プラヤグラージ県はウッタルプラデッシュ州に位置する人口600万人の都市です。ガンジス河とヤムナー河の二つの神聖な河が合流することでも知られ、ヒन्दゥー教徒の聖地とされています。

マキノスクールとNPO法人アーシャの関係

マキノスクールはインド ウッタルプラデッシュ州プラヤグラージ県にあるサム・ヒギンボトム農工科学大学にある学部です。農民のためのプログラムを実施し、40年以上にわたり農村開発事業を行っています。NPO法人アーシャはこのマキノスクールを支援するために2004年に設立され、日本人スタッフ・専門家の派遣やスタディーツアーの運営などを行ってきました。現在では持続可能な農業・農村開発、女性の地位向上、母子保健、収入向上などのプロジェクトを現地の人たちと共に進めています。

f 『アーシャ=アジアの農民と歩む会』



マキノスクール(継続教育学部)
(サム・ヒギンボトム農工科学大学)